

G8食料安全保障と栄養のため のニュー・アライアンス

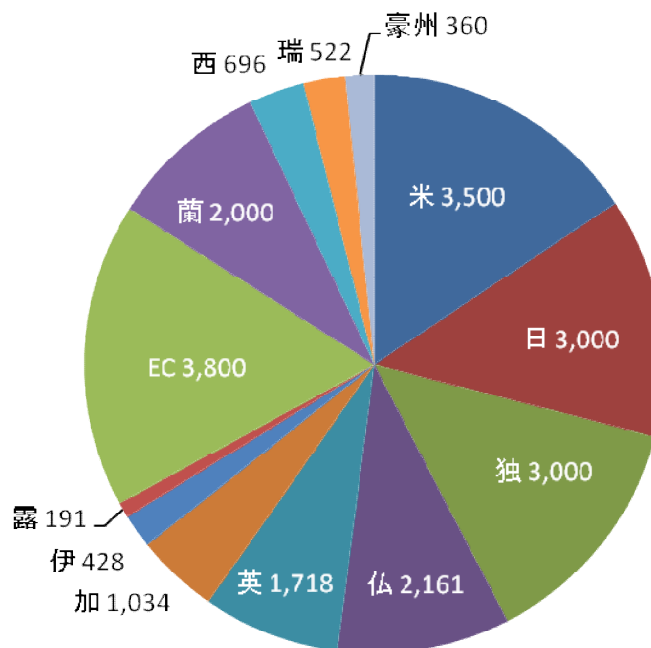
平成24年6月12日
外務省国際協力局

食料不安を抱える途上国の人々へ向けた支援 ～ラクイラ食料安全保障イニシアティブ(AFSI) (財政的コミットメント)～

- G8 ラクイラ・サミットで、我が国は、2010-12年の3年間で、インフラを含む農業関連分野において少なくとも30億ドルの支援を行う用意があることを表明。
- 我が国は、持続可能な農業開発の促進と食料安全保障の確保を通じた貧困削減のためには、農業生産及び生産性の向上とともに、ポストハーベスト・ロスの低減が不可欠との観点から、生産から流通・販売までのバリューチェーンを通じた幅広い分野での支援が重要との立場。
- 農業分野の主要ドナーとして持続可能な農業開発、食料安全保障に貢献すべく、途上国の要請に応じて着実に支援を実施中。
- AFSI参加国の会合を定期的 to開催し、各国コミットメントのトラッキング表を作成し公表するなど、説明責任を積極的に担保。2010年にはムスコカ説明責任報告書、2011年にはドーヴィル説明責任報告書、2012年にはキャンプデービッド説明責任報告書が公表された。

《各国のコミットメント額》

	各国	百万ドル
G8	米国	3,500
	日本	3,000
	ドイツ	3,000
	フランス	2,161
	英国	1,718
	カナダ	1,034
	イタリア	428
	ロシア	191
	EC	3,800
G8以外	オランダ	2,000
	スペイン	696
	スウェーデン	522
	豪州	360
	合計	22,101



サブサハラ・アフリカの食料安保改善のためのG8における新たな取組 ～「食料安全保障と栄養のためのニュー・アライアンス」の立ち上げ～

目標

G8、アフリカ諸国、民間セクターのパートナーシップにより、持続可能で包摂的な農業成長を達成し、10年間で5000万人を貧困から脱却させる。

アプローチ

共有する目標の達成に向けたパートナーシップの下、3者が以下にコミット。

- アフリカ諸国：効果的な国家計画及び政策をオーナーシップを持って推進。
- G8：ラクイラコミットメントを達成すると共に、引き続き支援を実施。援助協調を強化。
持続可能な農業分野の成長のためのアフリカの潜在力を拡大。
- 民間セクター：適切な条件の下で責任ある投資を増大。

具体的取組

1. 民間投資の増大に向けた分野別取組

民間投資の資金調達への支援、農業生産性向上を可能にする技術・イノベーションの促進、脆弱な小規模農家を保護するための農業開発に伴うリスクの減少に取り組む。

2. 国別の協力枠組みの立ち上げ

パートナー国での取組を加速化するため、資金コミット、具体的な政策行動、民間セクターの意図表明を含む「協力枠組み」を策定。

「ニュー・アライアンス」民間投資の増大に向けた分野別取組

1. 資金調達の支援

- (1) アフリカ開発銀行の「農業インフラファストトラック」等による案件準備・資金調達支援
- (2) 「世界農業食料安全保障プログラム(GAFSP)」に今後3年間で12億ドルを支援
- (3) 民間投資を促進するための開発金融機関(DFIs)における進捗を報告

2. 技術・イノベーションの拡大支援

- (1) 技術普及を加速化するための「技術プラットフォーム」を構築
- (2) 種子関連技術等を普及させるため「種子及び技術拡大パートナーシップ」を構築
- (3) 幅広い関係者間での農業関連データの収集・共有を強化
- (4) 情報通信技術(ICT)の活用を推進

3. リスクの軽減及び管理

- (1) 国別の農業リスク評価戦略の作成を支援
- (2) 農業インデックス保険の利用可能性・採用を推進するためのネットワークを構築
- (3) African Risk Capacity創設に向けた取組と公的なリスク管理の必要性を認識

4. 栄養の向上と子供の発育阻害の軽減

- (1) 栄養スケールアップ(SUN)運動を支援し、1000日間の栄養改善のコミットを歓迎
- (2) 栄養に関する分野横断的な活動の調整を推進
- (3) 食料の栄養価の改善のための関連技術の利用・開発促進

「ニュー・アライアンス」のもとでの国別協力枠組み

サブサハラ・アフリカ各国において、国別の取組を加速化させるため、「包括的アフリカ農業開発プログラム(CAADP)に基づき策定される国家投資計画と整合的な国別協力枠組みを作成。

1. 対象国

G8サミットまでに作成済み → エチオピア、ガーナ、タンザニア

本年9月までの作成を目指す → モザンビーク、ブルキナファソ、コートジボワール



今後、対象国を随時拡大していくことを想定

2. 国別協力枠組みの作成プロセス

(1) リード国の選定

モザンビーク(日、米が連携)、ブルキナファソ(フランス)、コートジボワール(EU)

(2) ラウンドテーブルの開催

民間投資増大に向けた多様な関係者の意見集約のため、現地でラウンドテーブルを開催

(3) アフリカ政府のコミットメント

CAADP及び国家投資計画と整合的な政策マトリックスや実施計画の作成を支援

(4) G8及び民間セクターのコミットメント

アフリカ政府の取組を支援するためのG8の資金コミットメント、民間投資増大のコミットメントを決定